令和５年度　学校経営方針について

校　長　　渕上　卓也

（１）学校経営の方向性

①児童の実態，課題に応じた**具体的な取組**を行うこと。

②教職員の資質向上を意識し、**学び高まり続ける学校組織**であること。

③**学校・家庭・地域の連携・協働による「地域総がかりの子育て」**の継続、拡大を図ること。

④なお一層**「働き方改革」の推進**、**「子どもと向き合う時間」の確保**に努めること。

（２）学校教育目標

長崎県の教育方針　長崎市の教育方針　児童の実態、地域の願い

伸　ば　そ　う　力　・　磨　こ　う　心

～　笑顔で　賢く　たくましく　～

（３）学校経営方針

「みんなでつくる　滑石小」

校風

なかまに　めぐまれた　しあわせな　学校

めざす学校像	めざす子ども像	めざす教職員像
○目標や夢を抱きたくなる学校 ○豊かな学びや経験のある学校 **◎あいさつや感謝の言葉が当たり前の学校** ○子どもも職員も元気な学校 ○子どもが愛着をもち、大切に使おうとする学校 ○地域とともにあり、地域に愛される学校	**◎心やさしい滑石っ子** **・あいさつができる子** **・ありがとうが言える子** **・笑顔で人に接する子** **◎考え工夫する滑石っ子** **・目標を立てて学ぶ子** **・意欲的に学習に取り組む子** **・学ぶ習慣を身に付けている子** ○心も体もたくましい滑石っ子 ・やる気をもって自ら動く子 ・あきらめない子 ・体を動かすことが大好きな子 ○きまりを守る滑石っ子 ・人の命も自分の命も大切にする子 ・自分の役割に責任をもって取り組む子 ・きちんと時間を守る子	○教育者としての使命感と情念に満ちた教職員 ○「社会を生き抜く力」をしっかりと育む教職員 **◎子どもに寄り添い、保護者に寄り添う教職員** ○地域に溶け込み、地域を愛する教職員 **◎「ワーク・ライフバランス」を実践する教職員**

将来の夢や希望の実現へ向け、充実した教育を提供できる滑石小であり続けたい。

（４）令和５年度　重点努力事項

滑石っ子を育む「**滑石小教育実践プラン**」

（第４次長崎市教育振興基本計画）　2025 年の目指す子どもの姿

「子どもが、長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を生き抜く力を身に付けている。」

基本施策

長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜くこどもを育みます。（Ｇ１）

（重点化方針）「子どもたちの学力を保障し高めること」自立

「子どもたちの社会性を育むこと」共生

「教育の質を高める環境の構築」働き方改革

学校教育目標　及び　方針

伸　ば　そ　う　力　・　磨　こ　う　心

～　笑顔で　賢く　たくましく　～

（重点１）「一人一人に寄り添う」個に応じた教育実践

①**「滑石っ子を語る会」**の充実による校内支援体制の確立

→**毎月１回**

②**「校内支援委員会」**を中心とした、特別支援教育に関する教職員の資質　・児童理解の向上及び深化

→**毎月１回程度、**適宜研修や資料提供

③**「保護者との合意形成」**のもと、具体的かつ効果的な**「個別の指導計画、支援計画の作成（通常学級在籍児童も含む）」**

→**学期はじめ**に作成・追記　**学期末**に検証・修正

④**「外部機関」「外部人材（ＳＣ、ＳＳＷ）」「地域」**との連携

→必要な時は、**直ちに**管理職やコーディネーターに**報・連・相**

⑤共通理解を深めるための**「保護者面談等」**の積極的な実施

→気になることは、**その日その時即対応**

⑥「指導」も「称賛」も、目を合わせた**アイアイ（愛愛）コミュニケーション**

そして、その理由も添えて！！　→　**機会を逃すことなく**

「しないのではなく、できない。」「きっといつかは心に届く。」

（重点２）「気付くまで」「できるまで」「わかるまで」の授業

①「滑石スタンダード」の実践　（特に言語活動の充実）
②「Ｔ・Ｔ」や「少人数・個別指導（特別支援教育、不登校対応も含む）」等を生かしたきめ細かな授業や学習の提供
③基礎学力の定着（「スキルタイム」「読書タイム」「自主学習」）
④「横断的な学習の成果を生かす場」の設定（「総合」「特活」「交流」等）
⑤「ギガスクール構想」の確実な推進（授業や家庭学習での積極的な実践）
　→全学級・全授業　正答率平均９割
　自主（家庭）学習１５分×学年＋１５分　児童９割達成

（重点３）「当たり前のことを、当たり前に」の生活指導

①生活目標の「確実な検証」　→　実行できるまで継続
②「生活アンケート」の実施及び分析と保管　→　毎月実施　いじめ継続ゼロ
③「あいさつ」「あいてのきもち」「あるきかた」「あとしまつ」
　「４つの『あ』」の周知・徹底　→　毎日確認
④「自治的，自発的活動」の場づくり（委員会、係、ボラ、縦割り、集団下校等）
　→児童会活動を中心に意識と活動の継続（継続的な取組）
⑤「動と静」の切り替え徹底（授業、集会、廊下歩行、当番、掃除、移動　等）
「黙々移動、黙々掃除、黙々当番」→毎日確認

（重点４）「みんなでつくる滑石小」をモットーとした学校、家庭、地域の連携・協働

①学校からの「情報発信」（ホームページ、学年・学級だより　等）
　→校長室だよりは、月３～４回　学年・学級だよりは、月　　回
②地域組織・人材との連携・協働、「地域学校協働活動」の推進
　→各学年１回は、地域人材を活用
③「まなび愛」「つながり愛」「わかり愛」のあるＰＴＡ活動の推進
　→各学年１回は対話型懇談会実施　メディアルールあり家庭１００％
④図書館教育や NIE 教育を通した、読む習慣の涵養及び家庭読書の推進
　→読書が好き児童８割　新聞の活用（発表、調査研究、教室掲示）全学級

（重点５）「元気」「やる気」「根気」につながる保健・安全指導

①「基本的な感染症予防」の継続　→　消毒、換気、健康観察　毎回・毎日
②「早寝、早起き、朝ご飯」の定着　→　まずは９割　要検証
③「歯磨き、フッ化物洗口」の再開　→　フッ化物洗口は週１回火曜日の昼
④集団生活の場としての危機管理意識の向上（事故に遭わない、遭わせない）
　→　重大事故ゼロ
⑤「なつははち運動」の意識付け、定着　→　忘れる児童ゼロ
　な　なふだ　　つ　つめきり　　は　歯磨き
　　は　はんかち　　ち　ちりがみ